



## チャレンジするたくましさ

副校長 佐々木 希

「今日は、前跳び100回をめざすんだ!」「足抜き回りにってどうやるのかな?」

ある日の2年生の体育で、こんな声が聞こえてきました。縄跳びグループと、鉄棒グループに分かれて、「体育カード」を見ながら自分に合った技にチャレンジしていくのです。前跳び100回をめざしている子は、「数えていて。」と言って、ペアの友達と交代しながらチャレンジしますが、53回、45回…となかなか目標達成ができません。一方、鉄棒の足抜き回りにチャレンジしていた子は、先生に支えられながらやってみましたが、途中で鉄棒から手を離してしまい、芝生にドスンと落ちてしまいました。私は、きっとこの子たちは「今日は、別の技にチャレンジすることにします。」「痛いので、今日この後は見学にします。」などと担任に言いに行くのかな、と予想しながら見ていました。ところが…、二人ともやめずにチャレンジを続けたのです。えらい! 「次はできるかも!」と自分を信じる姿に心を打たれました。

新しいことへの取り組みだけでなく、手をあげて発言することや、友達とのかかわり方を含め、「失敗が怖いので(うまくいかないかもしれないので)チャレンジができない」子が増えているのではと感じています。波風を立てず、物事を穏便に済ませようとするのは、ある意味自分を守ることであり、必要なときもあるかもしれませんが、2年生の二人の姿から、あらためてチャレンジすることのすばらしさを教えられました。成功することが大切なのではありません。社会がどのように変化しても適応して生き抜くためには、失敗にめげずチャレンジするたくましさこそが大切なのです。

どんな辞書にも、成功の反意語は「失敗」とある。  
だが、実際の人生で、成功の反対の意味は「チャレンジしないこと」である。

これは、エジソンの言葉とも言われています。誰でも(大人でも)失敗するのが当たり前。子どもたちが失敗をポジティブに捉えられるように、そして安心して色々なことにチャレンジできるように、教職員は支援していきます。保護者の皆様・地域の皆様と共に、未来を生き抜くたくましい小山台の子どもたちを育てていきたいと、考えています。



子どもたちの学校生活の様子については、小山台小学校のホームページ「学校日記」に随時掲載しています。ぜひご覧ください。

